

# マイクロマシン／MEMS 分野関連 【2020 年 9 月の経済報告】

令和 2 年 9 月 24 日

(一財) マイクロマシンセンター  
(<http://www.mmc.or.jp/>)

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

## 1. 全般動向

### ■ 景気動向指数 令和 2 (2020) 年 7 月分 (速報) の概要 (内閣府、令和 2 (2020) 年 9 月 7 日発表 より抜粋)

- ① 7 月の CI (速報値・平成 27(2015)年=100) は、  
先行指数：86.9、一致指数：76.2、遅行指数：91.9 となった。

先行指数は、前月と比較して 3.1 ポイント上昇し、2 か月連続の上昇となった。  
3 か月後方移動平均は 2.77 ポイント上昇し、5 か月ぶりの上昇となった。  
7 か月後方移動平均は 0.60 ポイント下降し、26 か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して 1.8 ポイント上昇し、2 か月連続の上昇となった。  
3 か月後方移動平均は 0.77 ポイント下降し、10 か月連続の下降となった。  
7 か月後方移動平均は 2.55 ポイント下降し、21 か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して 1.3 ポイント下降し、2 か月ぶりの下降となった。  
3 か月後方移動平均は 1.70 ポイント下降し、12 か月連続の下降となった。  
7 か月後方移動平均は 1.54 ポイント下降し、12 か月連続の下降となった。

- ② 一致指数の基調判断  
景気動向指数 (CI 一致指数) は、悪化を示している。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・景気動向指数「令和 2 (2020) 年 7 月分 (速報) の概要」pdf へ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202007psummary.pdf>
- ・(ご参考) 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

## 2. 各経済指標

### ■ 月例経済報告（9月）（内閣府、令和2年9月24日公表） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より抜粋）

#### <日本経済の基調判断>

##### （現状）

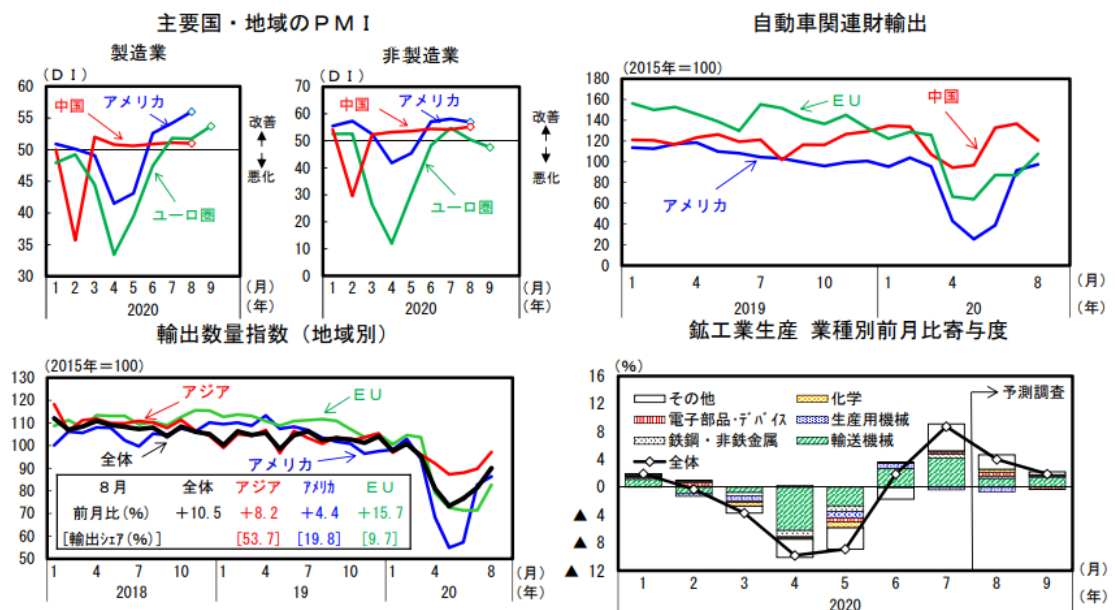
- ・ 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。

##### （先行き）

- ・ 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

#### 今月のポイント(1) 輸出・生産

- 輸出は、主要貿易相手国の経済の改善が進む中で、持ち直している。品目別では、引き続き、アメリカ向けを中心に、自動車関連財が持ち直している。
- 生産は、輸出の持ち直しを受けて6、7月は増加。8、9月の予測調査でも増加が続く見通し。



(備考) 1. 左上図は、アメリカは全米供給管理協会 (ISM)、ユーロ圏及び英国は民間調査会社マークイット、中国は国家統計局により作成。  
2. 左下図及び右上図は、財務省「貿易統計(8月速報)」により作成。内閣府による季節調整値。EUは全期間にわたり英国を除く27か国ベース。自動車関連財は、乗用車と自動車の部分品を金額ウェイトで合成したもの。各シェアは2019年の金額シェア。なお、各地域向け輸出金額に占める自動車関連財のシェアは、中国10.0%、アメリカ32.9%、EU22.9%。  
3. 右下図は、経済産業省「鉱工業指数」により作成。

詳細は以下より内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」をご参照下さい。

9月例経済報告資料 pdfへ:

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2020/09kaigi.pdf>

(ご参考) 内閣府「例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」関連 TOP ページ:

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

■ 設備投資 令和2年7月実績：機械受注統計調査報告  
 (令和2年9月10日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

1. 機械受注総額の動向をみると、2020（令和2）年6月前月比8.4%減の後、7月は同7.0%増の1兆8,311億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比12.2%増の9,335億円、官公需は同30.4%減の2,086億円、外需は同13.8%増の6,142億円、代理店は同2.3%増の994億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2020（令和2）年6月前月比7.6%減の後、7月は同6.3%増の7,513億円となった。このうち、製造業は同5.0%増の3,131億円、非製造業（除く船舶・電力）は同3.4%増の4,430億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2019年 (令和元年)		2020年 (令和2年)			2020年 (令和2年)			
		7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	1-3月 (実績)	4-6月 (実績)	7-9月 (見通し)	4月 (実績)	5月 (実績)	6月 (実績)	7月 (実績)
受注総額		1.8	-5.4	3.9	-17.7	-4.8	-8.3	-11.0	-8.4	7.0
民需		0.1	-4.3	-5.1	-8.4	-5.4	2.6	-10.5	-7.4	12.2
〃 (除船電)		-4.7	-1.8	-0.7	-12.9	-1.9	-12.0	1.7	-7.6	6.3
製造業		-3.5	-2.8	1.8	-16.6	-2.7	-2.6	-15.5	5.6	5.0
非製造業(除船電)		-9.3	3.6	-5.1	-9.7	-0.6	-20.2	17.7	-10.4	3.4
官公需		-4.9	-10.5	25.5	2.5	-3.1	-7.2	44.2	-20.0	-30.4
外需		5.8	-7.9	8.7	-32.1	-4.6	-21.6	-18.5	-3.9	13.8
代理店		-4.0	-3.1	3.6	-17.0	-2.1	-8.9	-10.0	2.5	2.3

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・ 令和2年7月実績：機械受注統計調査報告  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2020/2007juchu.html>
- ・ (ご参考) 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連 TOP ページ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数調査 結果の概要【2020年7月分】  
 (経済産業省 2020年9月14日発表 より抜粋)

<概況>

- ・ 製造工業生産能力指数は、97.4で前月比-0.2%の低下。  
 低下業種： 電子部品・デバイス工業同-3.2%、金属製品工業同-0.5%、その他工業同-0.2%等  
 上昇業種： 電気・情報通信機械工業同 0.2%、鉄鋼・非鉄金属工業同 0.3%、生産用機械工業同 0.2%等
- ・ 製造工業稼働率指数は、82.2で前月比 9.6%の上昇。  
 上昇業種： 輸送機械工業同 28.7%、その他工業同 24.0%、化学工業同 6.8%等  
 低下業種： 石油・石炭製品工業同-9.3%、生産用機械工業同-0.2%

製造工業生産能力指数、2015年=100

生産能力	原指数		
	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
	97.4	-0.2	-0.4

製造工業稼働率指数、2015年=100

稼働率	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
	82.2	9.6	87.2	-19.2

鉱工業指数、2015年=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	87.2 (86.6)	8.7	90.4 (89.8)	-15.5
出荷 (速報値)	85.8 (85.3)	6.6	88.0 (87.5)	-16.6
在庫 (速報値)	99.3 (99.2)	-1.5	101.2 (101.1)	-4.8
在庫率 (速報値)	125.7 (125.9)	-8.9	126.2 (126.4)	17.6

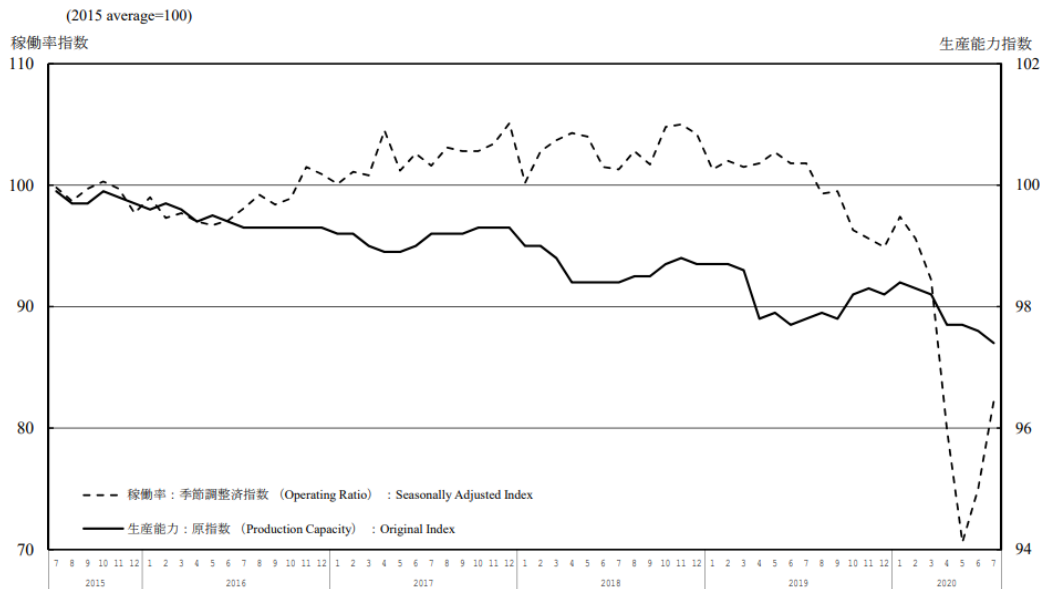
## <2020年7月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向>

製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表  
Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

index.2015= 100

年 月	生産能力(末) Production Capacity			稼働率 Operating Ratio			Year and Month	
	原指数 Original Index		前年(同月期)比 %Change From Previous Year	季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		前年(同月期)比 %Change From Previous Year		
	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)		前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)			
2017年	99.3		0.0			102.3	3.9	C.Y. 2017
2018	98.7		-0.6			103.1	0.8	C.Y. 2018
2019	98.2		-0.5			99.9	-3.1	C.Y. 2019
2017年度	98.8		-0.2			102.7	3.5	F.Y. 2017
2018	98.6		-0.2			102.5	-0.2	F.Y. 2018
2019	98.2		-0.4			98.3	-4.1	F.Y. 2019
2019年 II期	97.7	-0.9	-0.7	102.1	0.5	101.2	-0.6	Q2 2019
III期	97.8	0.1	-0.7	100.2	-1.9	100.5	-0.5	Q3
IV期	98.2	0.4	-0.5	95.6	-4.6	96.3	-8.9	Q4
2020年 I期	98.2	0.0	-0.4	95.1	-0.5	95.2	-6.3	Q1 2020
II期	97.6	-0.6	-0.1	75.2	-20.9	74.6	-26.3	Q2
2019年 5月	97.9	0.1	-0.5	102.7	0.9	99.9	0.1	May 2019
6月	97.7	-0.2	-0.7	101.8	-0.9	102.0	-1.4	Jun.
7月	97.8	0.1	-0.6	101.8	0.0	107.9	2.8	Jul.
8月	97.9	0.1	-0.6	99.3	-2.5	92.3	-4.9	Aug.
9月	97.8	-0.1	-0.7	99.5	0.2	101.3	0.4	Sep.
10月	98.2	0.4	-0.5	96.3	-3.2	98.5	-8.7	Oct.
11月	98.3	0.1	-0.5	95.6	-0.7	96.1	-10.4	Nov.
12月	98.2	-0.1	-0.5	94.9	-0.7	94.4	-7.5	Dec.
2020年 1月	98.4	0.2	-0.3	97.4	2.6	93.6	-3.9	Jan. 2020
2月	98.3	-0.1	-0.4	95.6	-1.8	92.6	-7.3	Feb.
3月	98.2	-0.1	-0.4	92.2	-3.6	99.4	-7.6	Mar.
4月	97.7	-0.5	-0.1	79.9	-13.3	79.8	-21.5	Apr.
5月	97.7	0.0	-0.2	70.6	-11.6	66.5	-33.4	May
6月	97.6	-0.1	-0.1	75.0	6.2	77.6	-23.9	Jun.
7月	97.4	-0.2	-0.4	82.2	9.6	87.2	-19.2	Jul.

製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)  
Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

- ・ 鉱工業指数関連 結果の概要ページ :

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

- ・ 2020年7月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向 (pdf) 資料

[https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_202007nj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202007nj.pdf)

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2020年8月31日発表より抜粋)

#### 【2020年6月動向概況】

- ・ 2020年6月のグローバル出荷額は2,768億円、前年比94.6%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比102.7% 1,277億円）、接続部品（同87.6% 700億円）、変換部品（同76.6% 398億円）、その他の電子部品（同108.3% 392億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比87.1% 627億円）、米州（同84.9% 263億円）、欧州（同74.5% 226億円）、中国（同113.9% 1,116億円）、アジア・その他（同87.4% 537億円）となった。

#### 【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額（2020.08.31発表：毎月更新）

電子部品出荷額（億円）	2020年度						2020年度累計	
	4月		5月		6月		4月-6月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
世界計	2,627	83	2,365	78	2,768	94	7,762	85
(日本)	606	85	533	77	627	87	1,767	83
受動部品	1,210	89	1,121	86	1,277	102	3,610	92
コンデンサ	887	91	833	89	943	105	2,663	95
抵抗器	108	83	101	82	110	94	320	86
トランス	26	70	26	71	27	78	80	73
インダクタ	183	88	158	77	193	101	535	89
その他	4	166	1	72	2	93	9	110
接続部品	612	75	553	67	700	87	1,866	76
スイッチ	209	53	199	50	272	73	681	58
コネクタ	400	96	350	84	425	100	1,177	93
その他	2	59	2	65	2	55	8	59
変換部品	382	71	351	66	398	76	1,132	71
音響部品	76	66	66	56	84	72	227	65
センサ	166	85	150	76	159	81	475	81
アクチュエータ	139	62	134	63	154	74	428	66
その他の電子部品	421	97	339	86	392	108	1,152	97
電源部品	145	92	135	89	156	105	437	95
高周波部品	276	99	204	85	235	110	715	98

#### 【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額  
 <<2020年度>>

地域別出荷金額（億円）	2020年度						2020年度累計	
	4月		5月		6月		4月-6月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	2,627	83	2,365	78	2,768	94	7,762	85
日本	606	85	533	77	627	87	1,767	83
米州	150	43	168	48	263	84	583	58
欧州	170	50	168	48	226	74	565	57
中国	1,180	111	1,028	100	1,116	113	3,324	108
アジア他	523	77	469	74	537	87	1,529	79

詳細は以下の JEITA（電子情報技術産業協会）ホームページをご参照下さい。

[https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上